

坂之上処理分区 大規模雨水処理施設整備事業計画（長岡市）

（様式1）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>坂之上処理分区は、古くから下水道整備を進めてきた合流区域のため、雨水整備水準は30mm/hrであり、市内の分流区域の整備水準42mm/hrと比べて低い状況である。</p> <p>平成16年の集中豪雨では、浸水面積は8.5ha、床上浸水戸数は3戸、床下浸水戸数は35戸の被害が発生した。その後、平成23年、25年においても浸水被害が発生し、過去20年間の延べ浸水面積は23.1ha、延べ床上浸水戸数は76戸、延べ床下浸水戸数は299戸に上り、早急な浸水対策が必要である。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本計画における対象降雨：42mm/hr ・ 目標とする理由：長岡市公共下水道事業計画（川東処理区）で定める計画降雨 ・ ハード整備による整備水準の目標：42mm/hr <p>② 目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> i) 都市機能の確保の観点：道路冠水を軽減する。 ii) 個人財産の保護の観点：家屋の浸水被害を軽減する。 iii) その他：特になし <p>③ ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> i) ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備により 42mm/hr の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。 ii) ソフト対策及び自助 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備で対象とする降雨量を上回る降雨において、下水道管理者による内水ハザードマップ作成・公表などの情報提供、地域住民等による防水板設置など、それぞれの主体が対策を実施することにより、浸水被害を最小限に抑える。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有 (平成 年 月 日策定済み) ・ 策定予定 (令和8年3月末策定予定) 			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水調整池の整備 貯留能力約 7,800m³ ・ 雨水調整池導水管の整備 排除面積 22.6ha 延長 0.65km
		ソフト対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内水ハザードマップの作成・公表
	自助	ハード対策		<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水貯留槽設置への助成 (長岡市雨水貯留槽設置補助金交付要綱) ・ 防水板設置への助成 (長岡市防水板設置補助金交付要綱)
		ソフト対策		<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水ますや側溝の定期清掃

年度計画 (百万円)

名 称	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	計
雨水調整池	35	712	712	713							2172
導水管					62	94	83	113	66	81	499
計	35	712	712	713	62	94	83	113	66	81	2671

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<p><事業評価の内容></p> <p>被害額：1年あたり 225 百万円が軽減される。</p> <p>B/C：1.3</p> <p><その他の定量的な効果></p> <p>ソフト対策，自助の整備効果等：</p> <p>内水ハザードマップによる情報提供及び防水板設置等により、浸水被害を低減する。</p>
放流先河川との調整状況	特になし
その他	道路部局、河川部局、防災部局等と連携し、大規模雨水処理施設整備事業計画を策定した。